

「ニュートン祭」についてのお知らせとお願い

ニュートンは、1642年12月25日に、イギリスで生まれました。ニュートンは、近代物理学の開祖ともいべき人なので、後世になって、大学の物理学科で、「ニュートン祭」という行事が行われるようになりました。私が入学した当時、東京学芸大学は、創立後間もない頃で、多くの分校に分かれて、いわゆる「タコ足大学」でした。小金井分校には、理科乙類(後のB類に相当)1クラスしかなく、1・2年次を過ごした後は、世田谷分校に通うことになっていました。当時、小金井分校の主事をしていた鎌田先生(後の学長)のお声がかかりで、毎年年末に小金井で「ニュートン祭」を行っていました。物理学教室所属の1・2年生が世話役でした。各分校から先生方が集まり、卒業生も参加しましたが、当時は物理学科の人数は少なく、全員合せても20人程度だったと記憶しています。ニュートン祭と言っても、12月25日に行うわけでもなく、実際には、ニュートンの名を借りた忘年会でした。

当時は、物理学科所属の学生は全部、物理学研究部の部員になっていました。しかし、私が東工大から学芸大に転任して来た頃は、全学が小金井に集まっており、理科生も、A,B,D類に大学院生も加わって大勢になっており、物理学研究部は、本来は学生自治会所属のサークルであり、物理学教室の所属ではないので、希望者だけが入部していました。ニュートン祭は消失していましたが、私が赴任したので、鎌田学長から、ニュートン祭を復活させてはどうかという話がありました。そこで、私と下條さん(後の理科教育学教授)とで、在学生、卒業生に声をかけて、大々的にニュートン祭を行いました。

しかし、私も他の教官も、非常に忙しく、その後、継続できませんでした。私は、古田先生から、物理学研究部の顧問になってほしいと言われ、引き受けました。そこで、物理学研究部の合宿ゼミに参加したり、忘年会にも参加しましたが、その他にも、私の研究室所属の学生とのゼミや合宿、指導学生の自主ゼミ等にも参加しました。そんなわけで、ニュートン祭は休止状態になり、忘年会は、各研究室や、サークル単位で、別々に行われるようになりました。

その後、ある時点で、物理学研究部の入部者が激減しました。これは、当時の社会状況によるものと思われます。物理学の研究などというお堅いことよりも、趣味的なサークルの人气が高まり、スポーツ系のサークルでも、厳しい鍛錬をするようなクラブは入部者がなくなり、いろいろなスポーツを楽しむ気楽なクラブが繁栄しました。結局、物理学研究部は自然消滅してしまいました。化学、生物、地学、数学などの研究部も同様でした。一方、物理学科では、全員卒業研究が必修となり、3年次から研究室に所属することになり、大学院生も含めて、各研究室それぞれにまとまるようになりました。私の研究室で卒業研究する学生の数も増加し、やがて金沢研究室と合同したので、かなり大人数で合宿ゼミをしたり、忘年会をしたりするようになりました。

私は、1995年3月に停年退職しました。その年から5年間、卒業研究、物理学研究部、自主ゼミなどで関係した学生たちを集めて、「自由講座」を開きました。参加者は、全国に

散らばっていましたから、東京に集まるのも容易ではなく、会場を確保するのも難しかったので、2000年以後は、集会をやめる代わりに、この「自由講座通信」を私から全員(約100人)にお送りすることにして、現在に至りました。

最近になって、学芸大学物理学教室の有志たちから、ニュートン祭を復活するという知らせがありました。そこで、私も協力して、この「お知らせ」を同封することにしました。現在では、物理学科を卒業した人々も相当多数になっていると思いますが、消息不明で、連絡できない人も多いと思います。皆様方もこの機会にご参加下さると共に、同期生など、連絡可能な方がありましたら、ご勧誘下さるよう、お願い致します。

今年は、12月14日(土曜日)の午後に、学芸大生協で開催される予定です。詳しいことに関しては、次のホームページをご覧ください：

http://www.my-pharm.ac.jp/wada/gakugei/newton_fest2013.html

「ニュートン祭」に参加ご希望の方、友人の連絡先等をお知らせ下さる方は、下記の宛先にご連絡下さい。その他のお問い合わせも下記にお願いします。

ニュートン祭関係連絡先：

187-0045 小平市学園西町 2-25-6 和田義親(1970年3月卒)

電話：042-348-7375

e-メールアドレス：wada@my-pharm.ac.jp